

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	51		事務事業名 (中事業名)	消費者行政推進事業 (消費生活相談事業)					
予算科目	07	01	01	大事業	03	中事業	01	担当課名	商工観光課
総合計画施策コード	461		事務開始年度	不明		備考			
根拠法令等							作成月	令和元年7月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	消費者トラブルや多重債務に関する相談対応と被害の未然防止のため啓発を行う。
事業の対象 (誰(何)のために)	消費者トラブルの被害者、多重債務者及び全市民
事業の概要 (具体的に何を)	月曜日から金曜日まで消費生活センターを開設し消費生活相談員による相談、市内各所への出張講座を行っている。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	8,590,044円	10,086,519円	10,400,000円	
事業にかかる人工	0.50人	0.50人	0.50人	
事業にかかる人件費②	3,552,306円	3,583,704円	3,617,112円	
総事業費③(①+②)	12,142,350円	13,670,223円	14,017,112円	
総事業費の内訳③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	6,397,130円	5,239,006円	5,413,000円
	市費	5,745,220円	8,431,217円	8,604,112円
	その他	0円	0円	0円
H30 総事業費③の対前年度差額	1,527,873円	H30 総事業費③の対前年度比率	12.58%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	県補助金の減額及び消費生活相談員の賃金単価の上昇			
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要	金額	
	賃金	臨時職員4名、嘱託職員1名	9,000,598円	
	印刷製本費	啓発パンフレット	791,586円	
	委託料	複合機委託料	52,790円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	一年間の消費生活相談件数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	500	件	600	件	700	件
	実績値	686	件	837	件	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	一年間の消費生活相談の実施日数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	244	日	244	日	244	日
	実績値④	244	日	244	日	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度	平成30年度		令和元年度		
		49,764円	56,026円		*****		

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	-
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	
事業の終了時期が未定の場合の理由	多様化する消費生活のトラブルに対しての相談窓口のため終了しない		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	◎	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か	◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	—
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	◎		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	—
有効性	事業の目的は達成できているか	◎	公平性	受益者に偏りはないか	◎
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	—
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	◎		受益者負担の割合は適切か	—
	他市町村と比べて上位に位置しているか	◎		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	◎
評価の総合的なコメント	消費者問題の解決に直結している。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	平成29年度末に西三河消費生活相談室が閉鎖したため、市民からの消費生活相談に対し事業を継続する必要がある。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	市が行うことが望ましい				
事業全体の課題	県の消費者行政活性化事業費補助金が令和6年度を以って全て終了する。財源確保のため、啓発資材等を見直し出前講座を重点的に行い未然防止に努める				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	消費生活センターの設置状況は全て設置済
---------------	---------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	意見なし
-----------------	------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	多様化する消費者トラブルに対応するため、相談員のスキルアップを図ります。また、トラブルを未然に防止するため、消費者安全確保地域協議会による見守りの強化や出前講座等による啓発・周知を行います。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	消費者からの相談は複雑多様化しており、相談体制も充実する必要があります。相談員のスキルアップを図りつつ、令和6年度をもって補助金が打ち切られることもあり、近隣市町と合同でセンター設置を検討するなど、効率的な運営を検討してください。
----------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	52	事務事業名 (中事業名)		観光宣伝事業 ()					
予算科目	07	01	02	大事業	04	中事業	00	担当課名	商工観光課
総合計画施策コード	113		事務開始年度		不明		備考		
根拠法令等	なし						作成月	令和元年7月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	西尾市をPRすることにより、観光客誘客を図る。
事業の対象 (誰(何)のために)	市内の旅行サービス業の他、農林水産業、食料品産業、小売業、宿泊業、飲食店業、運輸業など。
事業の概要 (具体的に何を)	西尾市の観光振興を図るため、ポスターやパンフレット等の広告物、首都圏をはじめとする市外イベントへの出展、他自治体との連携による事業展開等によりPRを展開。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	6,735,322円	5,079,411円	5,462,000円	
事業にかかる人工	0.40人	0.40人	0.40人	
事業にかかる人件費②	2,841,845円	2,866,963円	2,893,690円	
総事業費③(①+②)	9,577,167円	7,946,374円	8,355,690円	
総事業費の内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	500,000円	500,000円	500,000円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	9,077,167円	7,446,374円	7,855,690円
	その他	0円	0円	0円
H30 総事業費③の対前年度差額	-1,630,793円	H30 総事業費③の対前年度比率	-17.03%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	観光ポスターのデザイン更新延期等による印刷製本費の圧縮			
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要		金額
	負担金	竜の子街道広域観光推進協議会負担金1,000千円他		2,405,048円
	印刷製本費	イベントポスター・チラシ印刷567千円他		1,346,573円
	旅費	上杉雪灯籠まつり(米沢市)177千円他		856,650円

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	観光入込客数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	3,700,000	人	3,700,000	人	3,700,000	人
	実績値	3,353,328	人	3,558,818	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	観光PR出展回数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	20	回	25	回	30	回
	実績値④	20	回	25	回	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度	平成30年度		令和元年度		
		478,858円	317,855円		*****		

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	-
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	事業が多岐にわたり、終了を見込めないため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		◎	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	◎
	国・県・市・民間との役割は適切か		◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		◎		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		◎		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	西尾市として観光誘客を図る上で、有効であると考えますが、方法など改善の余地はある。					
事業の方向性	(評価)	2 今後は、内容を見直して事業を拡大する				
	(理由)	事業内容を改善した上で、積極的に取り組むべき。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	今後も引き続き、市内事業者と連携をとりながらPRに取り組む。					
事業全体の課題	出展するイベントや宣伝ツールの選定について、改善するように取り組む。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣のO市、G市においては本市以上に宣伝事業を実施している。
---------------	--------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	昨今のキャンプブームも手伝って休日の岡ノ山遊ほっ茶広場のバーベキュー場は、県外からもお客さんが来て大人気ですが、残念ながら午後5時までの利用で、宿泊(テント泊)はできません。宿泊可能な施設とすれば、宿泊客に特産品を売り込む事や、新たな需要が見込めるのではないのでしょうか？
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	利用者のニーズに対応しつつ、観光資源の磨き上げによる魅力向上を図るとともに、常に新しい魅力をPRできるようにしていきたい。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	観光は新しいことへチャレンジをすることで、PR効果が生まれ、観光客の増加につながると思います。一方で地域性のあるイベントで継続が必要なものは見直しを図りながら、より良いイベントにしてください。
----------	--

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	53		事務事業名 (中事業名)	特産品振興事業 ()					
予算科目	07	01	02	大事業	06	中事業	00	担当課名	商工観光課
総合計画施策コード	121			事務開始年度	不明			備考	
根拠法令等	なし							作成月	令和元年7月

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	「西尾の抹茶」、「一色産うなぎ」、「三河一色えびせんべい」といった西尾市の特産品を県内外へ広める。
事業の対象 (誰(何)のために)	特産品生産者・関連事業者
事業の概要 (具体的に何を)	「西尾の抹茶」、「一色産うなぎ」、「三河一色えびせんべい」について、県内外の物産展等各種宣伝事業及び三河一色みなとまつりの開催を委託する。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	10,184,313円	9,164,370円	9,780,000円	
事業にかかる人工	0.10人	0.10人	0.10人	
事業にかかる人件費②	710,461円	716,741円	723,422円	
総事業費③(①+②)	10,894,774円	9,881,111円	10,503,422円	
総事業費の内訳③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	10,894,774円	9,881,111円	10,503,422円
	その他	0円	0円	0円
H30 総事業費③の対前年度差額	-1,013,663円	H30 総事業費③の対前年度比率	-9.30%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	三河一色みなとまつり委託料	4,560,000円	
	委託料	「西尾の抹茶」宣伝事業委託料	3,600,000円	
	委託料	特産品宣伝事業委託料	680,000円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	東京での物産展における西尾市の認知度					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	45	%	45	%	45	%
	実績値	39	%	41	%	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	PR出展回数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	20	回	25	回	30	回
	実績値④	20	回	25	回	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		544,739円		395,244円		*****	

事業の委託状況	全て委託している	委託の内容	県内外の物産展等各種宣伝事業
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	特に定めていないため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	◎
	国・県・市・民間との役割は適切か	○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	△
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	◎		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	事業は有効に機能しているが、受益者は特産品の事業者に限られる。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	西尾市を代表する地域ブランドであり、今後も認知度向上を図らなければならない。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	今後は特産品事業者とより一層協働して取り組むことも可能。				
事業全体の課題	西尾市としてPRしていく特産品を今後拡大していくべきか。受益者負担割合を見直すべきか。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	他の市においても同様に特産品振興の事業を行なっている。
---------------	-----------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	東京の物産展に参加するよりも、もっと近隣(名古屋駅とか東海三県内の大都市)の物産展の参加を増やした方が、西尾の特産品の購入につながるのでは。ネットが発達していても東京の人がわざわざ西尾に来ることは考えにくいので。
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	西尾市が誇る特産品は、年々認知度が高まってきており、近隣では非常に名が通ってきております。今後は全国レベルでの認知度を得るために、メディアや大都市圏でのPRなど改善してまいります。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	特産品のPR手法として、試食・試飲→販売→リピートといったサイクルが確立されるようにすれば、より効果的だと思います。また、その場でふるさと納税の申込を可能とすることも検討してください。
----------	--

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	54		事務事業名 (中事業名)	外国人観光客誘致戦略事業 ()					
予算科目	07	01	02	大事業	10	中事業	00	担当課名	商工観光課
総合計画施策コード	113			事務開始年度	不明			備考	
根拠法令等	なし			作成月	令和元年7月				

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	海外向けのPRや市内の案内看板等の整備を行い、訪日外国人観光客の誘客を図る。
事業の対象 (誰(何)のために)	外国人観光客
事業の概要 (具体的に何を)	海外(タイ)にて「西尾の抹茶」をはじめとした西尾の特産品等のプロモーションを実施。公衆無線LANの運用。多言語対応QRコード看板の作成・設置。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	2,571,080円	4,549,555円	3,574,000円	
事業にかかる人工	0.20人	0.20人	0.20人	
事業にかかる人件費②	1,420,922円	1,433,482円	1,446,845円	
総事業費③(①+②)	3,992,002円	5,983,037円	5,020,845円	
総事業費の内訳③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	3,992,002円	5,983,037円	5,020,845円
	その他	0円	0円	0円
H30 総事業費③の対前年度差額	1,991,035円	H30 総事業費③の対前年度比率	49.88%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	印刷製本費、旅費、委託料の増加			
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要	金額	
	旅費	タイ観光プロモーション出張旅費	426,240円	
	需要費	タイ観光プロモーション用備品、パンフレット増刷	1,134,220円	
	委託料	海外プロモーション事業・多言語対応QRコード看板作成	2,688,000円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	吉良温泉外国人宿泊者数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	20,000	人	20,000	人	20,000	人
	実績値	10,477	人	16,220	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	海外向けPRイベント実施回数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	1	回	1	回	1	回
	実績値④	1	回	1	回	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)	平成29年度	平成30年度	令和元年度				
	3,992,002円	5,983,037円	*****				

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	海外プロモーション事業
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和4年
事業の終了時期が未定の場合の理由	特に定めていないため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評 価	評 価 項 目		評 価	評 価 項 目		評 価
	妥 当 性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効 率 性	単位コストは、前年を下回っているか
国・県・市・民間との役割は適切か			○	事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか		○
変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか			◎	委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか		○
事業に対する市民ニーズを把握しているか			○	事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか		○
有 効 性	事業の目的は達成できているか		○	公 平 性	受益者に偏りはないか	△
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		◎		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント		西尾市として観光誘客を図る上で有効であると考え、方法など改善の余地はある。また受益者は外国人観光客に限られる。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	現行どおり海外に向けPRをするとともに、現地の案内板表記やサービスの多言語対応等の整備をより積極的に行っていく必要がある。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	今後も引き続き、市内の事業者や他県・他市と連携を取りながらPRに取り組む。					
事業全体の課題	今後、一部の国向けだけでなく、より多くの国々に同時にPRするための方法。外国人観光客の受け入れにあたり、多言語対応に続く優先的に整備すべき項目の選定。受入に対する市内事業者の参画の促進(理解を得ること)。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	今後は、多言語対応を看板だけでなくSNSやホームページ等にまで拡大する。また、本市の観光情報に気軽かつ簡単にアクセスできるよう、訪日外国人向けの専用ページやアプリ等を作成できるよう務める。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	外国人観光客誘客事業は、観光ルートが重要であり、様々なツールを使って西尾市に足を運んでもらう必要があると思いますので、関係市町や関係者と連携し取り組んでください。
----------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	55	事務事業名 (中事業名)		海水浴場運営事業 ()					
予算科目	07	01	02	大事業	11	中事業	00	担当課名	商工観光課
総合計画施策コード	111		事務開始年度		不明		備考		
根拠法令等	なし						作成月	令和元年7月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	宮崎海岸、恵比寿海岸、寺部海岸に海水浴場を開設し、観光振興を図る。
事業の対象 (誰(何)のために)	海水浴場利用者、海水浴場付近の宿泊等施設利用者の市内滞在
事業の概要 (具体的に何を)	海水浴場の開設及びイベント実施(7~8月)のための監視警備委託、海開き式の実施、海岸清掃、サメ網の設置等

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	15,069,064円	16,548,838円	16,587,000円	
事業にかかる人工	0.30人	0.30人	0.30人	
事業にかかる人件費②	2,131,384円	2,150,222円	2,170,268円	
総事業費③(①+②)	17,200,448円	18,699,060円	18,757,268円	
総事業費の内訳③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	17,200,448円	15,274,060円	14,597,268円
	その他 指定寄付金	0円	3,425,000円	4,160,000円
H30 総事業費③の対前年度差額	1,498,612円	H30 総事業費③の対前年度比率	8.71%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要		金額
	委託料	海水浴場開設業務14,259千円他		15,506,284円
	工事請負費	海水浴場設備工事		461,700円
	備品購入費	海水浴場用備品(寺部海水浴場用AED他)		446,796円

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	海水浴場入込客数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	62,000	人	62,000	人	62,000	人
	実績値	60,570	人	61,990	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	イベント実施回数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	12	回	13	回	14	回
	実績値④	14	回	15	回	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度	平成30年度		令和元年度		
		1,228,603円	1,246,604円		*****		

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	-
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和4年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	温泉観光施設と一体となって夏の観光誘客を行っており、終了時期が明確でないため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評 価	評 価 項 目		評 価	評 価 項 目		評 価
	妥 当 性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		◎	効 率 性	単位コストは、前年を下回っているか
国・県・市・民間との役割は適切か			◎	事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか		○
変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか			◎	委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか		○
事業に対する市民ニーズを把握しているか			◎	事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか		○
有 効 性	事業の目的は達成できているか		○	公 平 性	受益者に偏りはないか	△
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		◎		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント		西尾市として観光誘客を図る上で有効であると考えますが、方法など改善の余地はある。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	温泉観光施設を有する西尾市の観光誘客に寄与していると考えており、今後も存続する必要がある。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	今後も引き続き、市内事業者と連携しながらPRに取り組む。					
事業全体の課題	夏のレジャーが多様化しているうえに、マリレジャーも多様化が進んでいるため、全国的に見ても海水浴場の利用は減少傾向にある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣では蒲郡市、田原市、常滑市、知多市、南知多町等において同時期に実施されている。
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	海水浴の来客数は年々減っている傾向にあると思います。オフシーズン時に海水浴場もしくはサンライズパーク駐車場でオフシーズンに流行のフリーマーケットや海産物の物販等のイベントを行い、宮崎海水浴場の知名度を上げ、ハイシーズン時の集客を狙ってみてはどうか。
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	シーズン中だけでなく、オフシーズン中の取組により知名度を上げるという姿勢も大切にし、市の管理である恵比寿海水浴場のバーベキューのように、PRを行っていく。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	海という資源を有効に活用し、海水浴だけでなくウインタースポーツ、砂浜アート、イルミネーションなどを企画し、宮崎、寺部、佐久島の活性化を図ってください。
----------	---